



中北小学校 学校だより

そ っ た く き

啐啄の機 No. 12

令和3年1月28日(木)

上天草市立中北小学校

文責：横山

「なかよく・かしこく・きまり正しく・たくましく」乗り越えよう！

～緊急事態宣言をうけて～

冬休みは大きな事故の報告もなく、1月8日(金)の3学期の始業式には、子ども達は元気な笑顔で登校してくれました。地域やご家庭での子ども達への温かい見守りに心より感謝申し上げます。

無事にスタートした3学期でしたが、先日、熊本県独自の緊急事態宣言が出される事態となり、上天草教育委員会からは感染拡大防止のため、次のような留意事項が示されました。

・健康観察の徹底 ・授業時の換気の徹底 ・感染リスクの高い活動の回避 …など

これを受け、学校では当面の間、地域からゲストティーチャーをお招きする活動や、子ども同士が密集する活動、近距離で接触する活動、家庭科での調理実習などを控えるようにしています。また、今後予定しております様々な行事等におきましても、中止や延期、規模の縮小の可能性があります。

学校ではこれまで以上の危機感をもって感染拡大防止に取り組みながら、学校生活を充実させていきたいと思っております。しかしながら、感染対策には「これでよい」という正解はありません。状況を見極めながら、臨機応変な対応となります。

保護者の皆様におかれましても、今後とも各ご家庭での健康観察のご協力をよろしくお願いいたします。その際、次のような場合には、登校せずにご自宅で待機をお願いします。

・本人に発熱、風邪症状、倦怠感、息苦しさ、嗅覚・味覚障がい等の症状がある場合。

・同居のご家族に、発熱などの風邪症状が見られる場合。

保護者の皆様、子ども達、そして職員とが一体となって、「なかよく、かしこく、きまり正しく、たくましく」、知恵を出し合い、協力し合ってこのコロナ禍を乗り越えていければと思います。どうぞ、ご理解とご協力のほどよろしくお願いいたします。

タブレット端末で学びを深める！

文部科学省の「GIGAスクール構想」を受け、上天草市でも児童一人一台のタブレット端末が配当されました。これからの時代は、鉛筆やノートと同じようにPC端末が仕事や学習をする上でのマストアイテムになるといわれています。まずは、とにかく「使ってみる」ことが大切です。子ども達は次の様な場面で、タブレット端末を活用しています。

- ・WEB会議アプリを使っての「リモート健康観察」
- ・個別学習ドリルアプリを使っての一人一人の進度に応じた計算や漢字の練習
- ・写真機能を使っての社会科の調べ学習や理科の観察記録 など

将来的には家庭に持ち帰ってタブレットで宿題をしたり、万が一の休校などの際にはリモート授業を行ったりすることにもなると思います。ICT環境整備に合わせて子ども達が適切に、安全に使いこなすことができるよう、情報モラル教育も進めていきます。



リモートによる全校集会

1月26日（火）全校集会を行いました。この日は5、6年生の合唱と合奏の発表だったのですが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、子ども達は体育館に集まらずリモートで行いました。5、6年生は体育館で演奏し、他の学年はWEB会議アプリを使って教室で聴くというものです。5、6年生の演奏は、6年生の卒業を3月に控え、これまでの日々感謝し、残り少ないこのメンバーでの日々を惜しむ一人一人の思いがこもっており、とても感動しました。演奏後には、各教室から感想発表がありました。このように双方向でのやりとりができるのもWEB会議アプリの利点です。とはいえ、1日も早く子ども達がマスクを外して思いっきり歌い、その歌声を直接みんなで聴き合えるようになってほしいと心から思いました。



「支え合い」で幸せな未来を！

先日インターネット新聞を閲覧していると、次のような記事を見つけました。

熊本市のある料理店の店主さんは、コロナ禍の中、手洗い、消毒など出来る限りの感染予防対策をされていました。しかし、それでも新型コロナウイルスにかかってしまいました。人工呼吸器を2週間つけ、45日の入院生活で体重が13kgも減少したそうです。苦しい闘病生活でしたが、看護師さんがつきっきりで世話をしてくださったおかげで回復されたそうです。その後、店主さんは店名を公表されました。それは感染拡大を防ぎ、お客様の命を守ることが最も大事と考えられたからです。とはいえ、世間から誹謗中傷を受けないか、学校へ通う息子がいじめられないかとても心配だったそうです。

しかし、そんな心配とは逆に、近所の方や、常連のお客さん、全国の方から励ましの手紙や電話をもらったそうです。息子さんも「何もいやな思いはしていない」と言っており、楽しい学校生活を過ごすことができているということでした。学校の友達、保護者の方、先生方、地域の方の温かさや優しさがとても嬉しかったそうです。その後、店主さんは依頼されて、ご自分の経験を小学校などで子ども達に講話をされています。その際、次のように語られたそうです。

今、日本では感染者探しをしたり、誹謗中傷があったりというニュースを聞きます。やはり誰もが見えないウイルスに対して不安をもっているからだろうと思います。でも、それでウイルスをやっつけることができるのでしょうか。新型コロナウイルスに感染したとき、友達や家族の励ましが病気に立ち向かう一番の励ましになりました。人生で一番つらいと思うほどの体験でしたが、人の温かさや優しさを直に感じる事ができました。皆さんにもそういった思いやりを人に与えられる人になって欲しいです。そして、そんな地域や学校でいたいですね。今ある幸せを大切に、一人がみんなのために、みんなは一人のために、新型コロナウイルスと闘っていきましょう。

新型コロナウイルスはどんなに気を付けていても、誰にでも感染のリスクがあります。感染者探しや誹謗中傷の先に、明るい未来はありません。みんながとても不安な今だからこそ、互いが互いを思いやり、支え合い、助け合っていくことが、自分も含めた「みんなが幸せになる」ことにつながると思います。